



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月7日

上場会社名 リンテック株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7966 URL <https://www.lintec.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 服部 真
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 柴野 洋一 (TEL) 03-5248-7713
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	77,073	1.4	5,803	△9.8	5,617	△26.0	3,818	△35.2
2025年3月期第1四半期	76,045	16.9	6,435	373.7	7,590	285.6	5,890	435.5

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 △2,316百万円(—%) 2025年3月期第1四半期 11,136百万円(441.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	57.57	57.55
2025年3月期第1四半期	86.10	86.06

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	320,594	235,276	73.1
2025年3月期	340,471	246,126	72.1

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 234,488百万円 2025年3月期 245,313百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	55.00	—	55.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	317,000	0.3	24,000	△2.3	24,000	△8.0	18,000	24.3	267.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2026年3月期1Q	72,488,740株	2025年3月期	72,488,740株
2026年3月期1Q	7,028,849株	2025年3月期	5,143,049株
2026年3月期1Q	66,334,808株	2025年3月期1Q	68,412,045株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。
- ・決算補足説明資料は、本日、当社ホームページ (<https://www.lintec.co.jp>) に掲載する予定です。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は半導体・電子部品関連製品が引き続き堅調に推移し前年同期を上回ったものの、利益面では為替影響や原燃料価格の上昇、人件費を含む固定費の増加などにより前年同期を下回る結果となりました。

以上の結果、売上高は77,073百万円（前年同期比1.4%増）、営業利益は5,803百万円（同9.8%減）、経常利益は5,617百万円（同26.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,818百万円（同35.2%減）となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりです。

(印刷材・産業工材関連)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比	
			増減額	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	45,286	45,107	△179	△0.4
印刷情報材事業部門	36,202	35,899	△302	△0.8
産業工材事業部門	9,083	9,207	123	1.4
営業利益	1,938	751	△1,186	△61.2

当セグメントの売上高はほぼ前年同期並みの45,107百万円（前年同期比0.4%減）となりましたが、営業利益は売上構成の影響や固定費の増加などもあり751百万円（同61.2%減）となりました。

当セグメントの事業部門別の売り上げの概況は次のとおりです。

<印刷情報材事業部門>

シール・ラベル用粘着製品は、国内では医薬・物流用は堅調に推移しましたが、食品関連や飲料キャンペーン用などが低調であったことから前年同期並みとなりました。海外では米国で販売数量は増加したものの売上構成の影響などにより減少しました。この結果、当事業部門の売上高は35,899百万円（前年同期比0.8%減）となりました。

<産業工材事業部門>

国内では自動車用粘着製品や自動車用ウインドーフィルムが堅調に推移しました。海外では米国で防犯用ウインドーフィルムの需要が低迷したものの、航空機用特殊フィルムが好調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は9,207百万円（前年同期比1.4%増）となりました。

(電子・光学関連)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比	
			増減額	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	21,830	22,764	934	4.3
アドバンストマテリアルズ事業部門	19,120	20,541	1,420	7.4
オプティカル材事業部門	2,709	2,222	△486	△18.0
営業利益	4,148	4,738	589	14.2

当セグメントの売上高は韓国・台湾子会社の閉鎖の影響がありましたが、半導体・電子部品関連製品の売上高が堅調に推移したことにより22,764百万円（前年同期比4.3%増）となりました。営業利益については減価償却費や人件費などの固定費は増加しましたが、半導体・電子部品関連製品の販売数量が増加したことにより4,738百万円（同14.2%増）となりました。

当セグメントの事業部門別の売り上げの概況は次のとおりです。

<アドバンストマテリアルズ事業部門>

半導体関連粘着テープは前年同期並みとなりましたが、半導体関連装置については大幅に伸長しました。積層セラミックコンデンサ関連テープはデータセンターやスマートフォン向けなどの需要増加により堅調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は20,541百万円（前年同期比7.4%増）となりました。

<オプティカル材事業部門>

OLEDディスプレイ用粘着テープは堅調であったものの、韓国・台湾子会社の閉鎖の影響もあり売上高は減少しました。この結果、当事業部門の売上高は2,222百万円（前年同期比18.0%減）となりました。

(洋紙・加工材関連)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比	
			増減額	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	8,928	9,202	273	3.1
洋紙事業部門	3,782	3,744	△38	△1.0
加工材事業部門	5,146	5,458	311	6.1
営業利益	339	288	△51	△15.2

当セグメントの売上高はカラー封筒用紙は低調であったものの、電子材料用剥離紙などが好調に推移したことにより9,202百万円（前年同期比3.1%増）となりました。営業利益については加工材事業部門で増販効果があったものの人件費などの固定費増加をカバーするに至らず288百万円（同15.2%減）となりました。

当セグメントの事業部門別の売上げの概況は次のとおりです。

<洋紙事業部門>

工業用特殊紙は堅調に推移したものの、主力のカラー封筒用紙や耐油耐水紙が需要減少により低調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は3,744百万円（前年同期比1.0%減）となりました。

<加工材事業部門>

合成皮革用工程紙は減少したものの、電子材料用剥離紙や光学関連製品用剥離フィルムがスマートフォンなどの需要増加により好調に推移したほか、炭素繊維複合材料用工程紙も増加しました。この結果、当事業部門の売上高は5,458百万円（前年同期比6.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は320,594百万円となり、前連結会計年度末に比べて19,876百万円の減少となりました。主な増減要因は以下のとおりです。

- ・「現金及び預金」の減少 △10,549百万円
- ・「棚卸資産」の減少 △1,053百万円
- ・「流動資産その他」の減少 △2,557百万円
- ・「有形固定資産」の減少 △3,304百万円
- ・「のれん」の減少 △1,755百万円

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は85,318百万円となり、前連結会計年度末に比べて9,026百万円の減少となりました。主な増減要因は以下のとおりです。

・「短期借入金」の減少	△1,000百万円
・「未払法人税等」の減少	△2,978百万円
・「賞与引当金」の減少	△1,400百万円
・「流動負債その他」の減少	△1,940百万円
・「長期借入金」の減少	△1,037百万円

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は235,276百万円となり、前連結会計年度末に比べて10,849百万円の減少となりました。主な増減要因は以下のとおりです。

・「自己株式」の減少	△5,164百万円
・「為替換算調整勘定」の減少	△6,045百万円

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は39,724百万円となり、前連結会計年度末に比べて10,979百万円の減少となりました。当第1四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、前第1四半期連結累計期間に比較して3,679百万円減少の4,894百万円となりました。主な増減要因は以下のとおりです。

・「税金等調整前四半期純利益」の減少	△1,937百万円
・「棚卸資産の増減額」の増加	1,847百万円
・「法人税等の支払額又は還付額」の減少	△2,261百万円

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、前第1四半期連結累計期間に比較して1,704百万円増加の△3,499百万円となりました。主な増減要因は以下のとおりです。

・「定期預金の預入による支出」の減少	△1,421百万円
・「定期預金の払戻による収入」の増加	1,144百万円
・「有形固定資産の取得による支出」の増加	2,177百万円

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、前第1四半期連結累計期間に比較して5,548百万円減少の△10,708百万円となりました。主な増減要因は以下のとおりです。

・「自己株式の取得による支出」の減少	△5,238百万円
--------------------	-----------

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2025年5月8日に公表した業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	55,511	44,962
受取手形、売掛金及び契約資産	64,701	65,074
棚卸資産	64,054	63,001
その他	8,666	6,109
貸倒引当金	△166	△148
流動資産合計	192,767	178,998
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	48,373	46,956
機械装置及び運搬具（純額）	39,961	38,507
土地	13,573	13,386
建設仮勘定	6,645	7,101
その他（純額）	8,377	7,675
有形固定資産合計	116,931	113,626
無形固定資産		
のれん	11,771	10,016
その他	3,165	2,978
無形固定資産合計	14,936	12,994
投資その他の資産		
その他	15,924	15,083
貸倒引当金	△88	△107
投資その他の資産合計	15,835	14,975
固定資産合計	147,703	141,596
資産合計	340,471	320,594

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	40,350	40,706
短期借入金	1,300	300
1年内返済予定の長期借入金	1,837	1,925
未払法人税等	4,998	2,020
賞与引当金	2,716	1,315
役員賞与引当金	76	23
その他	18,710	16,769
流動負債合計	69,989	63,060
固定負債		
長期借入金	3,794	2,757
リース債務	3,414	3,474
環境対策引当金	111	111
退職給付に係る負債	14,672	14,804
その他	2,361	1,109
固定負債合計	24,355	22,257
負債合計	94,345	85,318
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,355	23,355
資本剰余金	26,627	26,633
利益剰余金	169,969	170,421
自己株式	△11,703	△16,868
株主資本合計	208,250	203,542
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	591	516
為替換算調整勘定	34,616	28,571
退職給付に係る調整累計額	1,855	1,858
その他の包括利益累計額合計	37,063	30,946
新株予約権	54	47
非支配株主持分	758	740
純資産合計	246,126	235,276
負債純資産合計	340,471	320,594

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	76,045	77,073
売上原価	55,970	57,622
売上総利益	20,074	19,451
販売費及び一般管理費	13,638	13,648
営業利益	6,435	5,803
営業外収益		
受取利息	150	131
受取配当金	268	112
固定資産売却益	6	0
為替差益	806	-
受取保険金	0	1
その他	73	54
営業外収益合計	1,306	300
営業外費用		
支払利息	105	87
固定資産除却損	21	74
為替差損	-	301
支払補償費	4	0
その他	20	22
営業外費用合計	151	486
経常利益	7,590	5,617
特別利益		
投資有価証券売却益	-	95
固定資産売却益	59	-
特別利益合計	59	95
税金等調整前四半期純利益	7,649	5,712
法人税、住民税及び事業税	1,445	1,185
法人税等調整額	308	706
法人税等合計	1,753	1,891
四半期純利益	5,896	3,820
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,890	3,818

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	5,896	3,820
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	37	△74
為替換算調整勘定	5,231	△6,065
退職給付に係る調整額	△29	2
その他の包括利益合計	5,240	△6,137
四半期包括利益	11,136	△2,316
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,108	△2,298
非支配株主に係る四半期包括利益	27	△17

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,649	5,712
減価償却費	3,101	3,035
のれん償却額	1,123	1,124
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	178	148
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4	9
受取利息及び受取配当金	△418	△244
支払利息	105	87
固定資産売却損益 (△は益)	△65	△0
固定資産除却損	8	23
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,413	△1,655
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,343	△495
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,040	1,257
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1	△95
その他	4	△243
小計	9,964	8,664
利息及び配当金の受取額	408	245
利息の支払額	△202	△156
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,597	△3,859
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,573	4,894
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△858	△2,279
定期預金の払戻による収入	445	1,589
有形固定資産の取得による支出	△4,968	△2,791
有形固定資産の売却による収入	135	0
無形固定資産の取得による支出	△31	△123
投資有価証券の売却による収入	52	106
その他	21	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,203	△3,499
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,100	△1,000
長期借入金の返済による支出	△821	△900
配当金の支払額	△2,989	△3,345
自己株式の取得による支出	△0	△5,239
その他	△247	△224
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,160	△10,708
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,293	△1,665
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△496	△10,979
現金及び現金同等物の期首残高	52,396	50,703
現金及び現金同等物の四半期末残高	51,899	39,724

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	印刷材・産 業工材関連	電子・光学 関連	洋紙・加工 材関連	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	45,286	21,830	8,928	76,045	—	76,045
セグメント間の 内部売上高又は振替高	18	4	3,645	3,668	△3,668	—
計	45,304	21,834	12,574	79,713	△3,668	76,045
セグメント利益	1,938	4,148	339	6,426	9	6,435

(注) 1 セグメント利益の調整額は、すべてセグメント間取引消去の金額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	印刷材・産 業工材関連	電子・光学 関連	洋紙・加工 材関連	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	45,107	22,764	9,202	77,073	—	77,073
セグメント間の 内部売上高又は振替高	18	8	3,786	3,813	△3,813	—
計	45,125	22,773	12,989	80,887	△3,813	77,073
セグメント利益	751	4,738	288	5,778	25	5,803

(注) 1 セグメント利益の調整額は、すべてセグメント間取引消去の金額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。